



珪砂巻きパイプ&異径ジョイントを利用した井戸施工の特徴

井戸設置工事は計画段階で掘削孔径、井戸ケーシング径、井戸ポンプ径、揚水量等々の制約を考慮しながら各サイズを設定していきます。施工主の予算に見合う井戸施工を行う場合、往々にして小口径の仕上げをしなければ採算が合わないケースも多々見受けられます。

通常の井戸施工は井戸ケーシングを掘削孔に挿入した後、充填剤（珪砂等）を投入します。この時、掘削孔とケーシングの間に余裕ある充填剤の投入スペースを確保しなければなりません。更に、投入した充填剤が孔壁に固着し、設計上の深度に充填されないトラブルも発生します。このため、設置後の井戸洗浄を長時間行っても濁りが続いたり、水中ポンプ設置後に砂を呼び、砂ろ過器の追加が必要になったりします。

トラブルを回避するために、仮に 100φ用の水中ポンプを設置する場合、掘削孔径を 200φ～300φで施工する必要があり、掘削機械の大型化、工期や費用の増加が避けられません。

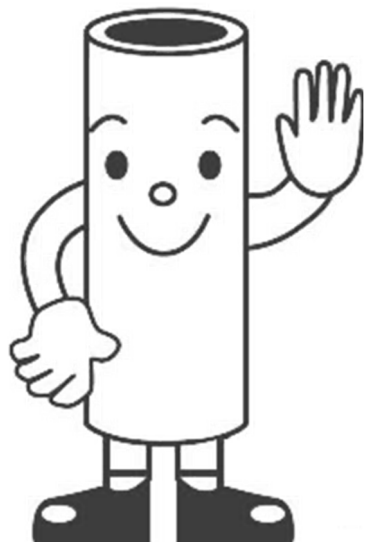
そこで弊社では珪砂巻きパイプと異径ジョイントを利用した井戸施工の提案をします。弊社の珪砂巻きパイプはその名の通り、スリットパイプ（有孔管）にフィルター剤の珪砂（玉砂利）をステンレス製網で均一に巻き付けた製品です。

【3つのメリット】

- ① 設置時に充填剤を投入することなく施工する事が出来ます。
- ② 掘削深度が深くなっても充填剤の未充填トラブルが防げます。
- ③ 掘削孔径を最小限に抑える事ができるため、工期や費用を抑制できます。

※上部からの遮水には事前に井戸ケーシングに遮水剤を巻き付ける等の処置をして下さい。

異径ソケット接続にはビニル系接着剤（HI用）を使用しております。



新提案



異径ジョイント&硅砂巻パイプを利用した井戸設置の利点

- 揚水ポンプ 100φ用が使用できる！（VP100用ポンプ）
- フィルター用の充填剤（硅砂、玉砂利等）の投入不要
- 掘削径をギリギリまで狭められる
- 工期短縮、予算削減ができる

異径ジョイントのサイズは3種類ご用意しました！！

100φ	→	75φ	用

100φ	→	65φ	用

100φ	→	50φ	用



硅砂巻外径	75φ	約 110φ
	65φ	約 95φ
	50φ	約 80φ

